



平成20年5月 中間期
中間決算説明会

玄品グループ

 株式会社 関門海
<http://www.kanmonkai.co.jp>

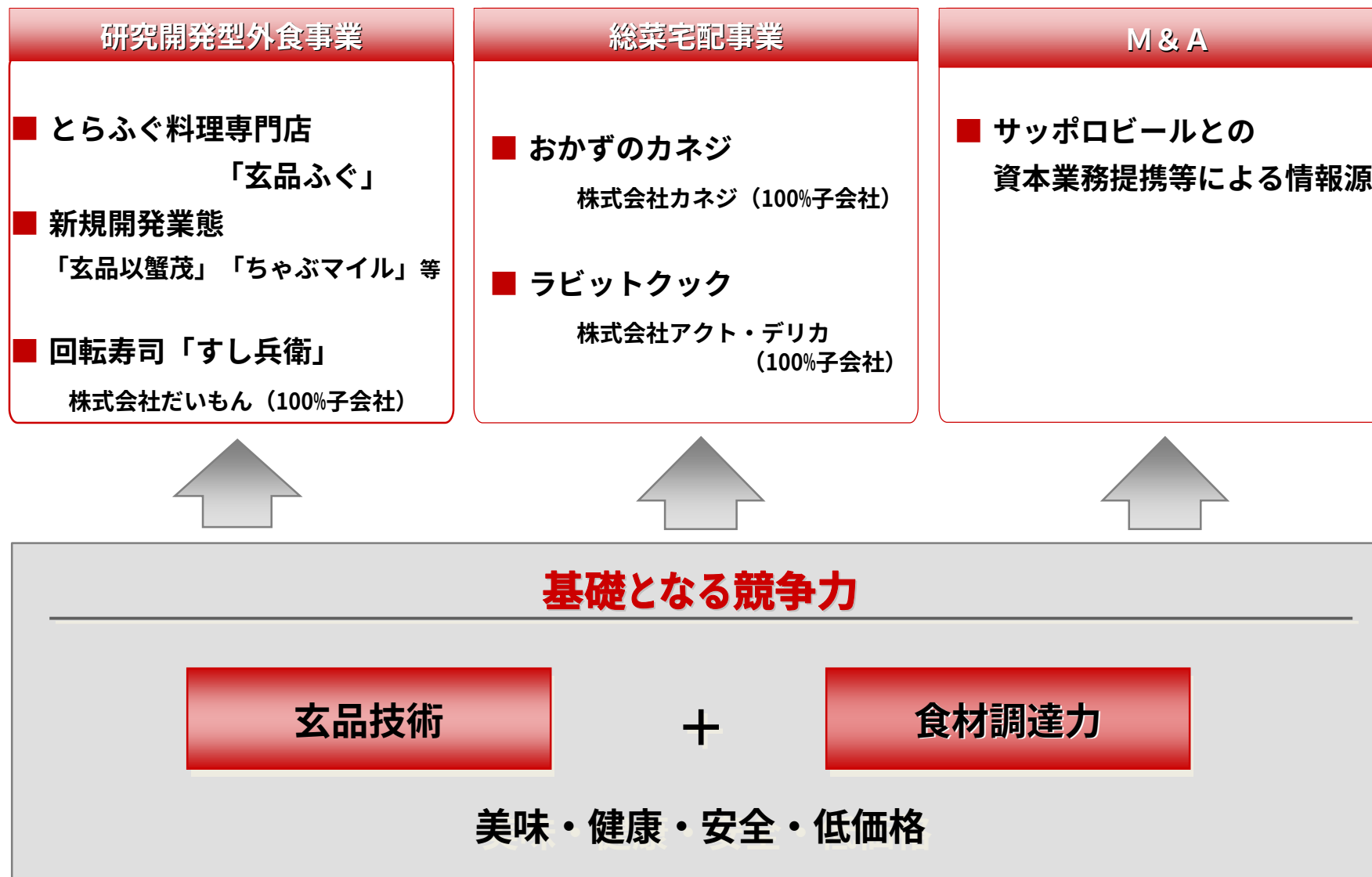
会社概要／玄品グループ

Company Summary

■ 商 号	株式会社 関門海 KANMONKAI Co.,Ltd.
■ 設 立	平成元年 5月
■ 代 表 者	代表取締役会長兼社長 グループCEO 谷間 真
■ 子 会 社	株式会社カネジ 株式会社アクト・デリカ 株式会社だいもん 株式会社富士水産 有限会社しまや酒店（予定）
■ 事業内容 （セグメント）	・ 研究開発型外食事業 ・ 総菜宅配事業 ・ 食材卸その他の事業
■ 従 業 員	213名（403名）※（ ）内はグループ従業員数
■ 店 舗 数	玄品ふぐ：111店舗 その他11店舗（中間期末日現在）
■ 資 本 金	3億2,392万円

ビジネスモデル

Business Model



トピックス

Topics

12月

- 筆頭株主が、財務大臣から株式会社ヤタガラスホールディングスに異動
- 「玄品ふぐ」のTVコマーシャル開始

1月

- とらふぐ相場が急騰。「玄品ふぐ」は技術開発・在庫投資により堅調

5月

- グローバル・ノエ株式会社と北海道地方での共同事業開発に関する業務提携



下期

6月

- とらふぐ養殖と水産物加工の株式会社富士水産を100%子会社化

7月

- 回転寿司「すし兵衛」の株式会社だいもんを100%子会社化

9月

- 総菜宅配「ラビットクック」の株式会社アクト・デリカを100%子会社化
- 有限会社しまや酒店を100%子会社化（予定）

下期 4社のM&A



トピックス

Topics

株式会社富士水産

■ 事業内容

とらふぐ養殖と水産物加工

■ 子会社化の目的

- ・ 玄品ふぐで使用するとらふぐの国産自社養殖
- ・ 飼料・稚魚の開発強化
- ・ 対馬の水産加工品の活用

■ 来期売上見込

2億円

■ 買収価格

— 円

株式会社だいもん

■ 事業内容

神奈川県で回転寿司「すし兵衛」11店舗の展開

■ 子会社化の目的

- ・ 技術開発力と調達力を活用し、「すし兵衛」の収益性向上
- ・ 漁港と直結した水産物の調達強化

■ 来期売上見込

16億円

■ 買収価格

3.6億円

株式会社アクト・デリカ

■ 事業内容

関西で総菜宅配「ラビットクック」の展開

■ 子会社化の目的

カネジとのインフラ共有化による収益性向上

■ 来期売上見込

16億円

■ 買収価格

1.7億円

有限会社しまや酒店

■ 事業内容

- ・ 沖縄中部での業務用酒販店の経営
- ・ 東京・大阪で沖縄料理店2店舗の経営

■ 子会社化の目的

沖縄独自の泡盛や食材の調達、事業展開を行う基礎として、しまや酒店の取引先を活用

■ 来期売上見込

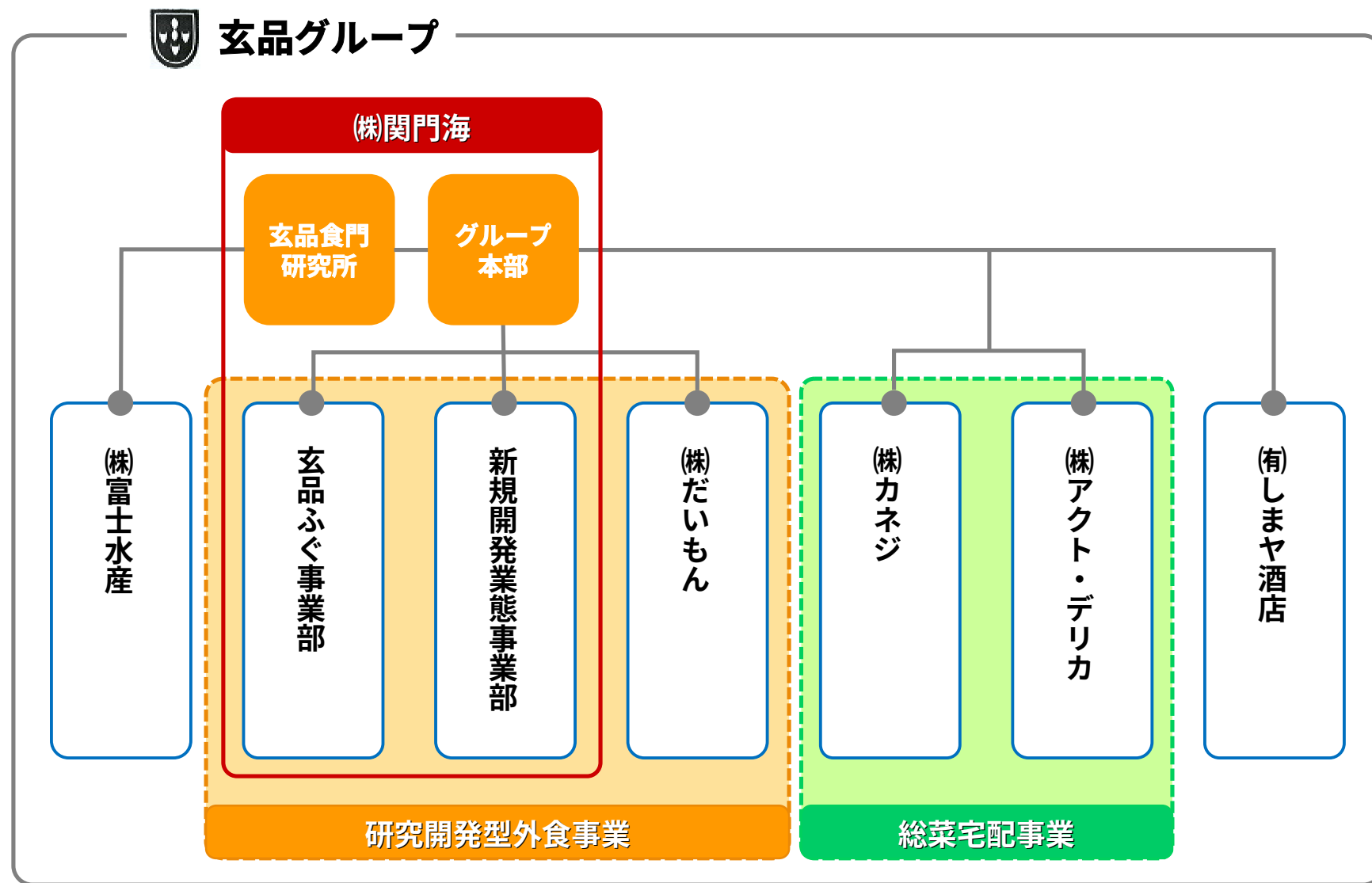
5億円

■ 買収価格

0.5億円

グループ図

Group





平成20年 5 月中間期 中間決算概要

■ 平成20年11月期 計画

決算概要／損益計算書

Accounting Outline

(単位：百万円)

	当中間期（実績）		前中間期（実績）			
	金額	百分比	金額	百分比	前年増減	前年比
売上高	5,918	100.0%	4,669	100.0%	+1,248	+26.7%
研究開発型外食事業	4,158	70.3%	4,157	89.0%	+0	+0.0%
総菜宅配事業	1,677	28.3%	195	4.2%	+1,481	+756.5%
その他の事業	83	1.4%	316	6.8%	△233	△73.7%
売上原価	2,018	34.1%	1,455	31.2%	+562	+38.7%
売上総利益	3,900	65.9%	3,213	68.8%	+686	+21.3%
販売費及び一般管理費	3,205	54.2%	2,563	54.9%	+642	+25.1%
営業利益	694	11.7%	650	13.9%	+43	+6.7%
営業外収益	16	0.3%	7	0.2%	+8	+105.7%
営業外費用	45	0.8%	52	1.1%	△6	△12.9%
経常利益	664	11.2%	605	13.0%	+58	+9.7%
特別利益	85	1.5%	—	—	+85	—
特別損失	89	1.5%	198	4.3%	△108	△54.8%
税金等調整前当期純利益	661	11.2%	407	8.7%	+253	+62.2%
法人税等	296	5.0%	164	3.5%	+131	+79.8%
当期純利益	364	6.2%	242	5.2%	+121	+50.3%

1 連結売上高26.7%増加

- 研究開発型外食事業はフランチャイズ化の推進により、売上高は横ばい（0.0%増）
- 総菜宅配事業が寄与し、連結売上高を底上げ
- その他の事業の減少は、前期の再建支援のための(株)かね治への食材供給によるもの

2 売上総利益率は3.0%ダウン 販売費及び一般管理費は 642百万円増加

- 期初からカネジの総菜宅配事業が加わったことが主な要因

3 特別利益 85百万円

- 「玄品ふぐ 蒲田の関」の店舗立退に関する補償金

4 特別損失 89百万

- 店舗閉鎖損失39百万円 蒲田他1件
- 解約違約金48百万
賃貸借契約の解約に伴うもの等

決算概要／セグメント別

Accounting Outline

(単位：百万円)

	当中間期			前中間期			増減	
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益
研究開発型外食事業	4,158	959	23.1%	4,157	790	19.0%	0	168
玄品ふぐ事業	3,741	967	25.9%	3,871	834	21.6%	△130	132
新規開発業態	417	△8	△1.9%	285	△43	△15.4%	131	35
総菜宅配事業	1,677	△71	△4.3%	195	7	4.0%	1,481	△79
その他の事業	83	26	31.4%	316	51	16.3%	△233	△25
消去又は全社	—	△219	—	—	△199	—	—	△19
合 計	5,918	694	11.7%	4,669	650	13.9%	1,248	43

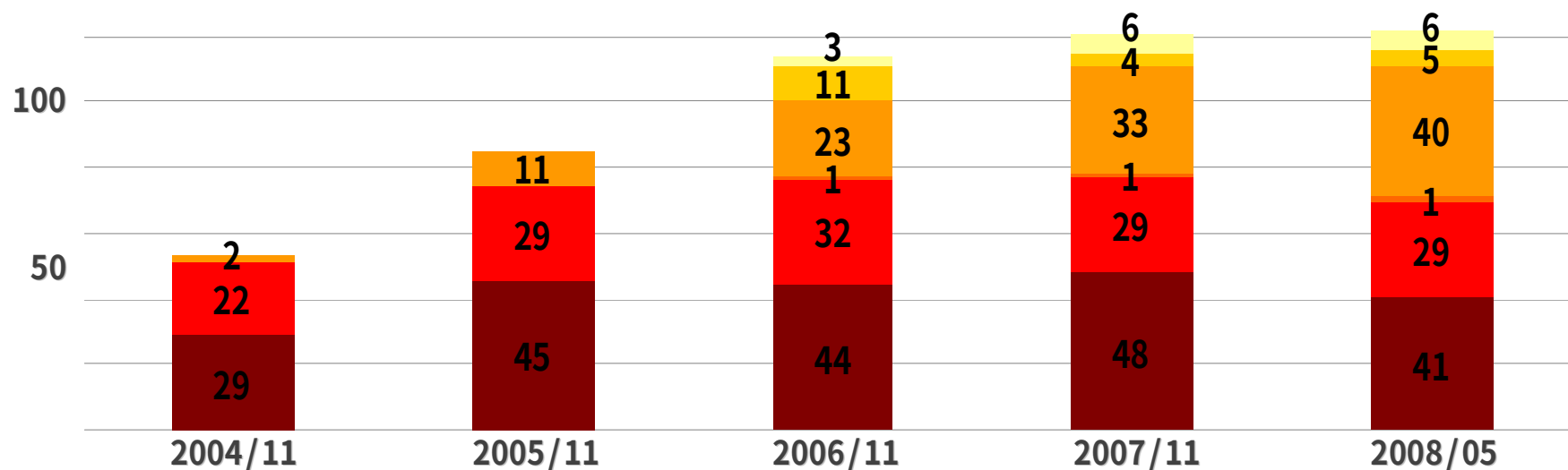
総菜宅配事業

- 広告宣伝費、人材採用により売上向上を図ったが、不十分な結果となり投資分の損失発生

トピックス／店舗推移グラフ

Topics

(件数)



項 目	2004/11	2005/11	2006/11	2007/11	2008/05	前期末比
玄品ふぐ	53	85	100	111	111	0
■ 関東直営	29	45	44	48	41	▲7
■ 関西直営	22	29	32	29	29	0
■ その他直営	—	—	1	1	1	0
■ F C	2	11	23	33	40	+7
■ 玄品以蟹茂	—	—	11	4	5	+1
■ その他	—	—	3	6	6	0
合 計	53	85	114	121	122	+1

決算概要／貸借対照表①

Accounting Outline

(単位：百万円)

	当中間期末	前期末		前中間期末	
	金額	金額	増減	金額	増減
流動資産	3,695	3,818	△122	2,778	916
現金預金	1,049	947	102	768	280
売掛金	393	484	△91	279	113
たな卸資産	1,846	2,089	△242	1,404	442
その他	414	299	115	328	86
貸倒引当金	△8	△1	△6	△1	△6
固定資産	3,673	3,845	△171	3,403	270
有形固定資産	2,572	2,713	△141	2,312	259
無形固定資産	108	101	6	155	△47
投資その他の資産	993	1,030	△36	936	57
資産合計	7,369	7,663	△294	6,182	1,186

1 流動資産

- たな卸資産の消化による減少

2 固定資産

- 少ない新規出店
- 減価償却による減少

決算概要／貸借対照表②

Accounting Outline

(単位：百万円)

	当中間期末	前期末		前中間期末	
	金額	金額	増減	金額	増減
流動負債	2,963	3,721	△758	2,122	840
買掛金	293	499	△206	246	47
短期借入金	300	1,100	△800	300	0
1年以内返済長期借入金	1,188	1,218	△29	745	442
未払金	470	709	△238	427	43
未払法人税等	335	35	300	174	161
その他	374	159	215	229	145
固定負債	2,547	2,486	61	2,302	245
長期借入金	2,228	2,382	△153	2,187	41
その他	318	103	215	115	203
負債合計	5,510	6,208	△697	4,424	1,085
純資産	1,858	1,455	402	1,757	100
資本金	323	306	17	303	20
資本剰余金	432	415	17	412	20
利益剰余金	1,099	734	364	1,042	56
その他	2	—	2	—	2
負債純資産合計	7,369	7,663	△294	6,182	1,186
有利子負債	3,773	4,772	△999	3,320	452

1 流動負債

● 短期借入金の減少

2 固定負債

● その他（長期前受収益）の増加

3 有利子負債

● 999百万円の減少

決算概要／キャッシュ・フロー計算書

Accounting Outline

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期	増減額	前期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,229	978	251	353
税金等調整前当期純損益	661	407	253	△66
減価償却費等	231	205	25	485
たな卸資産の減少額	242	389	△146	△295
長期前受収益の増加額	206	—	206	—
その他	△112	△24	△87	229
投資活動によるキャッシュ・フロー	△162	△697	534	△1,352
有形固定資産の取得による支出	△112	△600	487	△1,291
その他	△49	△97	47	△61
財務活動によるキャッシュ・フロー	△964	△46	△917	1,358
短期借入金の増減	△800	△300	△500	500
長期借入金の増減	△183	265	△448	933
その他	19	△12	31	△75
現金及び現金同等物の増減額	102	233	△131	358
現金及び現金同等物 期首残高	894	535	358	535
現金及び現金同等物 期末残高	996	768	227	894

■ 平成20年5月中間期 中間決算概要

平成20年11月期 計画

平成20年11月期計画／連結

Plan

(単位：百万円)

	19期実績		20期予想			
	金額	百分比	金額	百分比	増減	前年比
売上高	9,078	100.0%	11,800	100.0%	2,722	+30.0%
研究開発型外食事業	6,733	74.2%	7,550	64.0%	817	+12.1%
総菜宅配事業	1,965	21.6%	3,960	33.6%	1,995	+101.5%
その他の事業	379	4.2%	290	2.5%	△89	△23.5%
売上総利益	5,931	65.3%	7,300	61.9%	1,369	+23.1%
販売費及び一般管理費	5,539	61.0%	6,800	57.9%	1,261	+22.8%
営業利益	392	4.3%	500	4.2%	108	+27.6%
営業外収益	16	0.2%	30	0.3%	14	+87.5%
営業外費用	90	1.0%	110	0.9%	20	+22.2%
経常利益	318	3.5%	420	3.6%	102	+32.1%
特別損益	△384	△4.2%	△70	△0.6%	314	△81.8%
税金等調整前当期純損益	△66	△0.7%	350	3.0%	416	△630.3%
法人税等	△0.7	△0.0%	140	1.2%	140	—
当期純損益	△65	△0.7%	210	1.8%	275	△423.1%

平成20年11月期計画／セグメント

Plan

(単位：百万円)

	19期実績		20期予想		増減額		前年比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
研究開発型外食事業	6,733	604	7,550	1,035	817	431	+12.1%	+71.4%
玄品ふぐ	6,196	695	6,070	1,050	△126	355	△2.0%	+51.1%
新規開発業態	537	△91	790	△40	253	51	+47.1%	△56.0%
だいもん	—	—	690	25	690	25	—	—
総菜宅配事業	1,965	61	3,960	△110	1,995	△171	+101.5%	△280.3%
カネジ	1,965	61	3,400	△60	1,435	△121	+73.0%	△198.4%
アクト・デリカ	—	—	560	△50	560	△50	—	—
その他の事業	379	83	290	20	△89	△63	△23.5%	△75.9%
合　　計	9,078	750	11,800	945	2,722	195	+30.0%	+26.0%
全社共通費用	—	△357	0	△445	0	△88	—	+24.6%
玄品食門研究所	—	△187	—	△125	—	62	—	△33.2%
管理部門・共通	—	△194	—	△360	—	△166	—	+85.6%
消去	—	23	—	40	—	17	—	+73.9%
グループ全体	9,078	392	11,800	500	2,722	108	+30.0%	+27.6%

平成20年11月期計画／玄品ふぐ・新規開発業態

Plan

玄品ふぐ

その1 TVCM

関西圏において重点的に実施

売上高にも好影響

今冬、関東でのTVCM投下

その2 出店

- 9月に北海道初「すすきのの関」
- 11月（予定）大阪での出店
- ほかに関東3店舗（FC含む）

合計5店舗の出店予定

出店を加速

新規開発業態

その1 商業施設への出店

売上見込が下振れ

慎重に出店を検討

その2 ちゃぶマイル

- 約100坪の飲食モール
- 当社が投資・開発した店舗にチャレンジしたい個人が独立して経営を行う

予想を上回る結果

各地方において展開を検討